

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 24 年 7 月 26 日 (2012.7.26)

【公開番号】特開 2010-284849 (P2010-284849A)

【公開日】平成 22 年 12 月 24 日 (2010.12.24)

【年通号数】公開・登録公報 2010-051

【出願番号】特願 2009-139534 (P2009-139534)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 6 月 7 日 (2012.6.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

インクを吐出する複数の吐出口が所定方向に列をなすように配置されることで構成される同じ色のインクを吐出する第 1 の吐出口群と第 2 の吐出口群とが前記所定方向と交差する方向に複数設けられた記録ヘッドを記録媒体に対して前記交差する方向に沿った走査方向に相対的に走査しながら、第 1 の吐出口群と第 2 の吐出口群とのそれぞれに対応して設定されたインクの単位時間当たりの吐出発数である吐出頻度に応じてインクを吐出することにより前記記録媒体に画像を形成する記録装置であって、

前記記録媒体と前記吐出口との距離が所定の距離よりも長い場合における前記第 1 の吐出口群の前記吐出頻度に対する前記走査方向において前記第 1 の吐出口群より上流側の前記第 2 の吐出口群の前記吐出頻度の比が、前記記録媒体と前記吐出口との距離が所定の距離よりも短い場合における前記比より小さい、ことを特徴とする記録装置。

【請求項 2】

前記第 1 および第 2 の吐出口群は、所定の列間距離を隔てて隣り合うように配置された吐出口列対によりそれぞれ構成され、

前記第 1 および第 2 の吐出口群を構成する 2 対の吐出口列対のうち、前記記録ヘッドの走査方向において後方に位置する吐出口列対の吐出口からのインクの吐出頻度が、前方に位置する吐出口列対の吐出口からのインクの吐出頻度よりも低い、ことを特徴とする請求項 1 に記載の記録装置。

【請求項 3】

前方に位置する前記吐出口列対の両方の吐出口列の吐出口からインクを吐出し、後方に位置する前記吐出口列対のいずれか一方の吐出口列の吐出口からインクを吐出する、ことを特徴とする請求項 2 に記載の記録装置。

【請求項 4】

後方に位置する前記吐出口列対の前方に位置する吐出口列の吐出口からインクを吐出し、前方に位置する前記吐出口列対の後方に位置する吐出口列の吐出口からインクを吐出し、ことを特徴とする請求項 3 に記載の記録装置。

【請求項 5】

インクを吐出する複数の吐出口が所定方向に列をなすように配置されることで構成される同じ色のインクを吐出する第 1 の吐出口群と第 2 の吐出口群とが前記所定方向と交差する方向に複数設けられた記録ヘッドを記録媒体に対して前記交差する方向に沿った走査方

向に相対的に走査しながら、第１の吐出口群と第２の吐出口群とのそれぞれに対応して設定されたインクの単位時間当たりの吐出発数である吐出頻度に応じてインクを吐出することにより前記記録媒体に画像を形成する記録方法であって、

前記記録媒体と前記吐出口との距離が所定の距離よりも長い場合における前記第１の吐出口群の前記吐出頻度に対する前記走査方向において前記第１の吐出口群より上流側の前記第２の吐出口群の前記吐出頻度の比を、前記記録媒体と前記吐出口との距離が所定の距離よりも短い場合における前記比より小さい、ことを特徴とする記録方法。

【請求項６】

前記第１および第２の吐出口群は、所定の列間距離を隔てて隣り合うように配置された吐出口列対によりそれぞれ構成され、

前記第１および第２の吐出口群を構成する２対の吐出口列対のうち、前記記録ヘッドの走査方向において後方に位置する吐出口列対の吐出口からのインクの吐出頻度が、前方に位置する吐出口列対の吐出口からのインクの吐出頻度よりも低い、ことを特徴とする請求項５に記載の記録方法。

【請求項７】

前方に位置する前記吐出口列対の両方の吐出口列の吐出口からインクを吐出し、後方に位置する前記吐出口列対のいずれか一方の吐出口列の吐出口からインクを吐出する、ことを特徴とする請求項６に記載の記録方法。

【請求項８】

後方に位置する前記吐出口列対の前方に位置する吐出口列の吐出口からインクを吐出しない、ことを特徴とする請求項７に記載の記録方法。

【請求項９】

インクを吐出する複数の吐出口が所定方向に列をなすように配置されることで構成される同じ色のインクを吐出する第１の吐出口群と第２の吐出口群とが前記所定方向と交差する方向に複数設けられた記録ヘッドを記録媒体に対して前記交差する方向に沿った走査方向に相対的に走査しながら、第１の吐出口群と第２の吐出口群とのそれぞれに対応して設定されたインクの単位時間当たりの吐出発数である吐出頻度に応じてインクを吐出することにより前記記録媒体に画像を形成するためのデータを処理する画像処理装置であって、

前記記録媒体と前記吐出口との距離が所定の距離よりも長い場合における前記第１の吐出口群の前記吐出頻度に対する前記走査方向において前記第１の吐出口群より上流側の前記第２の吐出口群の前記吐出頻度の比が、前記記録媒体と前記吐出口との距離が所定の距離よりも短い場合における前記比より小さい、ことを特徴とする画像処理装置。

【請求項１０】

前記第１および第２の吐出口群は、所定の列間距離を隔てて隣り合うように配置された吐出口列対によりそれぞれ構成され、

前記第１および第２の吐出口群を構成する２対の吐出口列対のうち、前記記録ヘッドの走査方向において後方に位置する吐出口列対の吐出口からのインクの吐出頻度が、前方に位置する吐出口列対の吐出口からのインクの吐出頻度よりも低い、ことを特徴とする請求項９に記載の画像処理装置。

【請求項１１】

前方に位置する前記吐出口列対の両方の吐出口列の吐出口からインクを吐出し、後方に位置する前記吐出口列対のいずれか一方の吐出口列の吐出口からインクを吐出する、ことを特徴とする請求項１０に記載の画像処理装置。

【請求項１２】

後方に位置する前記吐出口列対の前方に位置する吐出口列の吐出口からインクを吐出しない、ことを特徴とする請求項１１に記載の画像処理装置。

【請求項１３】

インクを吐出する複数の吐出口が所定方向に列をなすように配置されることで構成される同じ色のインクを吐出する第１の吐出口群と第２の吐出口群とが前記所定方向と交差する方向に複数設けられた記録ヘッドを記録媒体に対して前記交差する方向に沿った走査方

向に相対的に走査しながら、第 1 の吐出口群と第 2 の吐出口群とのそれぞれに対応して設定されたインクの単位時間当たりの吐出発数である吐出頻度に応じてインクを吐出することにより前記記録媒体に画像を形成するためのデータを処理する画像処理方法であって、

前記記録媒体と前記吐出口との距離が所定の距離よりも長い場合における前記第 1 の吐出口群の前記吐出頻度に対する前記走査方向において前記第 1 の吐出口群より上流側の前記第 2 の吐出口群の前記吐出頻度の比が、前記記録媒体と前記吐出口との距離が所定の距離よりも短い場合における前記比より小さい、ことを特徴とする画像処理方法。

【請求項 1 4】

前記第 1 および第 2 の吐出口群は、所定の列間距離を隔てて隣り合うように配置された吐出口列対によりそれぞれ構成され、

前記第 1 および第 2 の吐出口群を構成する 2 対の吐出口列対のうち、前記記録ヘッドの走査方向において後方に位置する吐出口列対の吐出口からのインクの吐出頻度が、前方に位置する吐出口列対の吐出口からのインクの吐出頻度よりも低い、ことを特徴とする請求項 1 3 に記載の画像処理方法。

【請求項 1 5】

前方に位置する前記吐出口列対の両方の吐出口列の吐出口からインクを吐出し、後方に位置する前記吐出口列対のいずれか一方の吐出口列の吐出口からインクを吐出する、ことを特徴とする請求項 1 4 に記載の画像処理方法。

【請求項 1 6】

後方に位置する前記吐出口列対の前方に位置する吐出口列の吐出口からインクを吐出しない、ことを特徴とする請求項 1 5 に記載の画像処理方法。